

45 ICU(集中治療室)における人工呼吸器関連肺炎発生率

指標の解説

- 人工呼吸器関連肺炎(VAP)は、人工呼吸器の装着が契機となり発生する肺炎を指す。VAPには、以下のようなリスクがある。
 - 48時間以上人工呼吸器を装着した患者の約10~20%がVAPを発症する。
 - VAPを発症した重症患者は、VAPを発症しなかった重症患者に比べて、死亡するリスクが約2倍上昇する。
 - VAPを発症した患者は、ICUへの入室期間が約6日間延長し、多額の追加医療費が発生する。
- 当該感染症はICU入室期間を延長するだけでなく、医療費増大の原因にもなる。
- 発生率の減少は、死亡率の低下及び医療費の抑制につながり、医療の質を問う指標となりえる。

分子:人工呼吸が契機となり肺炎を発症した症例数

分母:ICUにおいて人工呼吸器を装着した患者の延日数

